

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	河西工業株式会社 技術新棟	階数	地上7F、塔屋1F、地下1F
建設地	高座郡寒川町宮山3316	構造	S造
用途地域	工業地域、高度地区	平均居住人員	800人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,600時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年6月 予定	評価の実施日	2016年5月10日
敷地面積	2,943 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社横浜支社 建築一級建築士事務所
建築面積	2,064 m ²	確認日	
延床面積	12,726 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.8 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆

30%: ★☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆☆

標準計算

① 参照値	100%
② 建築物の取組み	65%
③ 上記+②以外の	62%
④ 上記+	62%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

音環境	3.5
温熱環境	2.5
光・視環境	3.2
空気質環境	3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

機能性	3.3
耐用性・信頼性	3.2
対応性・更新性	3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

生物環境	1.0
まちなみ・景観	3.0
地域性・アメニティ	2.5

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.5

建物外皮の熱負荷	5.0
自然エネルギー	3.0
設備システム効率化	5.0
効率的運用	3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

水資源	3.4
非再生材料の使用削減	3.6
汚染物質回避	3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

地球温暖化への配慮	4.5
地域環境への配慮	3.3
周辺環境への配慮	3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他
省エネルギーや耐久性に配慮して、地球温暖化防止・ヒートアイランド現象の緩和を図っている。	
Q1 室内環境 断熱性能の高い外壁材の選択、屋根裏の断熱材設置等により空調負荷の低減に努めている。	Q2 サービス性能 節水器具を使用し、水資源保護に努めている。耐用年数の永い材料を使用して資源の保護を図っている。
Q3 室外環境(敷地内) 敷地周囲に緑地を効果的に配置し、植栽に親しむことができるように配慮している。	
LR1 エネルギー 高効率エアコン、LED照明の採用で設備システムの高効率化を図っている。	LR2 資源・マテリアル 再利用が可能なOAフロアを採用して資源の使用量を削減するよう努めている。
	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ を削減し、地球温暖化防止を図っている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される